



UBA news

新旧会長あいさつ

退任のご挨拶

全国中小企業青年中央会会長を退任するにあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

平成26年より二年間に亘る全国中小企業青年中央会の会長職在任中は格別のご高配を

賜りましたこと衷心より厚くお礼申し上げます。前期は呼称をUBAと統一した他、今期よ

り役員会を理事会に戻す事もご承認賜りました。またUBAサミットで全国の会員の成功事

例を紹介する場を提供し多くの会員様からご理解頂きました。全国の皆さんには、大変お

世話になり誠にありがとうございました。引き続き全国中小企業青年中央会への変わらぬ

ご支援を祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。



佐藤 康

新任のご挨拶

この度、佐藤会長の後を引き継ぎ、全国中小企業青年中央会(以下UBA)会長への就任を仰せつかりました石川でございます。

就任のご挨拶を申し上げます前に、前期に佐藤会長のもとでUBA呼称の確立、規約改正やUBAサミットの立ち上げ等、UBAの更なる発展にご尽力されました役員の皆様、及びUBA会員の皆様へ心より敬意を表します。

さて、今期におきましては「Take Full Advantage Of UBA」をスローガンと致しまして、会員の皆様が中小企業団体であること最大限に活用できるよう、UBAの様々な体制の見直し、中長期的な事業の模索、及び親会からの課題でもあります事業継承・後継者育成・人材育成問題の解決に役員一同は尽力致します。

皆様には、今後とも、UBAの活動に一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

おわりに、UBAに属する会員の皆様のご健勝、益々のご活躍を祈念いたしまして就任の挨拶と致します。



石川 誠司

UBA行事のお知らせ

平成28年度 組合青年部全国講習会 神奈川県にて開催予定

平成28年11月4(金)に全国中小企業青年中央会 全国講習会を神奈川県横浜市にて開催させていただくこととなりました。

神奈川県には、風情豊かな古都鎌倉や江の島、温泉で有名な箱根や湯河原、世界レベルで夜景の綺麗な桜木町のみなとみらい、食に至っては日本最大かつ東アジア最大の横浜中華街があり、今回の開催地である中華街の魅力や、開港を機会に多くの文化を取り入れながら歴史を刻んできた横浜の歴史を味わっていただけるよう、準備を進めております。また、催し物として関東ブロック一都十県の魅力をご来場いただいた皆様にお伝えできるよう、神奈川で買える関東ブロックの物産展も同会場にて同時開催しておりますので、是非ともお立ち寄り頂ければと思います。

全国規模の講習会として、横浜が開港を機に多くの異なる文化が混ざり合い一つの都市になっていったように、今回の講習会が異なる業界の取り組みや文化、考え方などを混ぜ合い、より良い組織作りの一端になっていただければ幸いです。

皆様方のご参加を神奈川UBA一同、心よりおまちしております。(参考資料別添2枚)

神奈川県中小企業青年中央会 会長 山口 智之



United Business Associations

平成28年
組合青年部
全国講習会

開催日： 平成28年 **11**月**4**日 **金**

開催時間：UBAサミット 13:00~15:00

講習会 15:15~17:45

懇親会 18:30~20:30



主催：全国中小企業団体中央会・全国中小企業青年中央会
神奈川県中小企業団体中央会 神奈川県中小企業青年中央会

平成28年度 組合青年部全国講習会 開催概要

開催年月日

平成28年11月4日 **金** 13:00~20:30

主催

全国中小企業団体中央会
UBA 全国中小企業青年中央会

開催場所

ローズホテル横浜
神奈川県横浜市中区山下町 77

ローズホテル横浜へのアクセス

- (1) 横浜駅 (みなとみらい線)→元町・中華街駅 着
- (2) 新横浜駅 (JR 横浜線)→菊名 (東急東横線)→元町・中華街駅 着
- (3) 羽田空港駅 (京浜急行)→京急川崎駅→横浜駅 (みなとみらい線)→元町・中華街駅 着
- (4) みなとみらい駅 (みなとみらい線)→元町・中華街駅 着



開催日程

内容	時間	詳細
UBA 理事会	11:00~12:00	場所:ローズホテル横浜 ロータスルームA
UBAサミット	13:00~15:00	場所:ローズホテル横浜 ザ・グランドローズ・ボールルーム EAST
組合青年部 全国講習会 第1部	15:15~16:15	講師:健康心理士 八尾 稔啓 氏 場所:ローズホテル横浜 ザ・グランドローズ・ボールルーム EAST
組合青年部 全国講習会 第2部	16:15~17:45	横浜町歩き 横浜の歴史に詳しいガイドと共に、 横浜の町を散策します。 コース① 横浜港及び横浜3塔を巡る港町コース コース② 中華街の歴史を知る中華街散策コース
GAI	17:45~18:30	自由時間 (チェックインやお買い物等にご利用下さい) 町歩きにご参加の方は現地解散になります、 ご注意ください。
交流懇親会	18:30~20:30	場所:ローズホテル横浜 ザ・グランドローズ・ボールルーム

ニュース担当ブロック内行事

近畿ブロック青年中央会交流会を三重県にて開催

例年、各府県における更なる事業展開やビジネス連携への一助となることを目的とした会員交流会を担当府県開催地として行なってまいりましたが、今回は、自ブロックに留まらず他ブロックとの交流も積極的に図る事により、もう一段ステップを上げたビジネスチャンスや刺激を受けられるべく、平成28年2月27日(土)～28日(日)の1泊2日にて三重県内において大阪府中小企業青年中央会の担当の下、近畿ブロック青年中央会交流会を開催し、近畿2府5県をはじめ、三重県、茨城県並びに長野県青年中央会より41名が参加した。(写真1)



(写真1)

本交流会では、三重UBA村田会長の会社であるネイション産業株式会社様の工場施設の視察見学をさせていただき、作業工程や工場拡張のお話や、現在、取り組んでおられる海外実習生研修制度を活用された従業員受け入れの様子についてご説明いただいた。

(写真2)



(写真2)

午後からは会場を鈴鹿サーキットに移し、
会員交流事業としてアドバンスカートタイム
トライアルレースを開催、スリップあり、コー
スアウトありと各人5周のタイムアタックで
したが白熱したバトルを展開した。
(写真3)



(写真3)



(写真4)

宿泊は三重県の奥座敷、湯の山温泉”彩
向陽”様にてお世話になり、同ホテルにて
三重UBA異業種交流会“ふれあい事業”と
懇親会を開催。
(写真4)

ふれあい事業においては三重県、茨城県、
長野県、近プロからは福井県、京都府の5
府県が、各府県の交流事業の取り組み事
例や友好経済団体との交流事例を発表し、
その後の懇親会でも深く掘り下げた話が
出るなど互いに刺激し合える場となった。
(写真5)



(写真5)

また、懇親会中に行ったレース表彰では1位から3位までの順位表彰と全員のランキングを発表し、参加者は一喜一憂するなど終始和やかに終えた。(写真6)



(写真6)



(写真7)

余談にはなるが、懇親会後の二次会は、会場の都合もあり宿泊部屋で行なったのだが、和室8人部屋に20人以上もの参加者であふれ、活気が尽きることが無く盛り上がりながら夜が更けていった。(写真7)

翌日は、ホテルから徒歩にて御在所ロープウェイ乗り場に向かい、まだ薄っすらと雪が残る標高1,212mの山頂に登り、生憎、霞がかかっていたが眺望を楽しみ、下山、解散となった。(写真8)



(写真8)

今回の交流会は近畿を離れた初の試みでしたが、見学、興奮、交流、観光と内容の充実した2日間であった。

大阪UBA（大阪府中小企業青年中央会）
40周年記念事業(ユニバーサル・ジャングルドリームパーティ)を開催

大阪UBAは、平成27年10月1日(木)ユニバーサル・スタジオジャパンにおいて、40周年記念事業(ユニバーサル・ジャングルドリームパーティ)を開催しました。

当日は、大阪府中小企業団体中央会尾池会長、UBA佐藤会長、12都府県UBA会長に来賓としてご臨席いただき、総勢で132名の会員組合並びに関係者の皆様方にご参加いただきました。

当パーティでは、USJキャラクターによるパフォーマンス、記念ケーキの披露、キャラクターと参加者によるパフォーマンスなど、年間パスを持っている方でも体験できない大変貴重なパーティで、参加者からは、「また来たい」、「来て本当に良かった」という意見が多数ありました。

以上の内容をもって、40周年記念事業は成功裏に終了致しました。



大阪UBA谷岡会長の開会挨拶



大阪府中小企業団体中央会 尾池会長の挨拶



UBA 佐藤会長乾杯の挨拶



大阪UBA 島巻副会長の閉会挨拶



役員集合写真



第11回京都青年中央会祭CAPフェスタ (京都府中小企業団体中央会創立60周年記念組合祭)を開催

京都青年中央会(芳村 敦会長)は平成27年10月18日(日)京都府京都市下京区梅小路公園において、快晴の中、第11回京都青年中央会祭CAPフェスタを開催し一般来場者のべ約30,000人を集め、来賓、ステージ出演者、出展者、スタッフ合わせ約500人が参加した。

平成7年より隔年で開催しております京都青年中央会祭(CAPフェスタ)は今回で11回目を迎え、京都青年中央会・京都府中小企業団体中央会の社会的認知の向上と会員相互の交流を達成するべく、本年は親会の創立60周年という記念すべき年も重なり、その記念事業の位置付けで、例年よりスケールを拡充した設えで臨んだ。



(写真①)

今回は『笑顔×(結ぶ)仕事人-しごんちゅっ-』をテーマに一般来場者の皆さまにご覧いただくステージ展開と実際にふれあい、体験していただけるブース展開の両面から日本の経済団体の中でも唯一の“業界団体が会員である団体会員組織”のスケールメリットを活かした取り組みをおこなった。

(写真①)



具体的に、ステージ展開では地元、七条中学校吹奏楽部の演奏の中、来賓の皆さまによるオープニングセレモニーのあと、小学生による和太鼓、プロによるライブ、熟年ダンサーによるフラ、キッズ&ガールズによるチアダンス、本会も後援会員として応援している京都サンガF.C.やプロバスケットチーム京都ハンナリーズのPRなど老若男女すべての層の方々にも盛り上げていただきました。

(写真②)



(写真②)

また、もう一つのステージイベントとして、山田京都府知事と本会芳村敦会長との「ディスカッション」知事と和い和いミーティング”も開催、京都府の発展について語り合われました。(写真③)



(写真③)



(写真④)

そしてもう一つの柱、ブース展開では会場内の皆様の空腹を満たす様々な趣向を凝らした飲食ブースやこどもたちや府民、市民の皆様には業界の楽しさや面白さをPRしたお仕事体験(しごんちゅKids)では実際の仕事を体験し業界に触れてもらう取り組みが行われた。(写真④)

このブースについては業界らしさやエコ度などの視点で採点され一般の部、来賓の部、出展者の部で審査が行われるブースコンテストにより表彰される。(写真⑤)



(写真⑤)

また一般来場者にも喜んでいただくために会場中に設置されているスタンプをあつめて抽選会を行うスタンプラリー大抽選会も開催し会場内を端から端まで見てもらえるような取り組みも行っている。(写真⑥)



(写真⑥)

この様子は京都青年中央会発行機関紙CAPかわら版にて掲載しておりますので、詳しくは京都青年中央会事務局にお問い合わせください。(写真⑧)



(写真⑦)



(写真⑧)

そしてこのお祭りの結びにはグランドフィナーレを行い、イベントの最後を締めくくる。

なお本イベントは環境にも配慮したイベントとなっており、会場内で使用する消耗品等は出展者の方々にもグリーン購入を促し、飲食で使用する食器については洗浄し、再利用するリユース食器を使用するなどして、京都市認定エコイベントとして登録され、その中でも最高位のレベル5を取得している。(写真⑦)

東京都中小企業団体青年部協議会 『創立40周年記念講演、記念式典、記念祝賀会』を開催



東京都中小企業団体青年部協議会（多田勝美会長）は、平成27年10月21日（水）、東京都港区の「八芳園」において、「創立40周年記念講演会、記念式典、記念祝賀会」を開催し、来賓や会員青年部から約170名が出席しました。

はじめに、記念講演として、TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏より、「経営者がみるべきニュースの本質～報道の表と裏～」と題して、テレビの裏情報やテレビの情報のみが正確ではないなど、

実例を交えながら笑いあいの貴重な講演をされました。小企業団体中央会の大村会長をはじめ、株式会社商工組合中央金庫の青木東京支店長、全国中小企業青年中央会の佐藤会長からご祝辞を頂戴しました。今回は、創立30周年からの歴代会長である第13代会長の大瀧敏裕氏及び第14代会長の小林康行氏に対して私より感謝状を授与しました。また、特別に「長年、本協議会並びに青年部の向上発展に寄与された」方である東京スクリーン・デジタル印刷協同組合 グループ201の吉田純一氏に東京中央会大村会長より東京都中小企業団体会長感謝状を贈呈いたしました。



祝賀会では、来賓として、本協議会設立にも携わられた東京都中小企業団体中央会の堀内専務理事、関東甲信越静岡ブロック中小企業青年中央会の加藤会長、公益財団法人アメイト協会の塩屋理事長よりご挨拶を賜りました。その後、本協議会第14代会長の小林氏より乾杯の発声があり、祝賀会が始まりました。

途中には、アトラクションとして、フレアパーティーの富田晶子氏によるショーがあり、全国中小企業青年中央会佐藤会長をはじめとした大勢の出席者の方がショーに参加され、花を添えられました。特に、歴代の会長・副会長などOBのメンバーとの交流が、現執行部にも良い影響を与えたものと思ひ、今回の記念式典は成功裡に終わったものと安堵しております。



祝賀会終了後には、総勢70名が出席された二次会を「カフェ ラ・ポエム白金」にて開催し、本日の創立40周年記念式典を振り返りながら、参加者の方と厚い友情を交わしました。



↑このメンバーで1年間準備等を行いました。二次会にて記念撮影！！

三重県内の青年4団体で災害時応援協定を調印

平成28年4月20日(水)、三重県桑名市において三重UBA(村田誠司会長)三重県商工会議所青年部連合会(隈本芳文 会長)、三重県商工会青年部連合会(谷本遼平 会長)、日本青年会議所三重ブロック協議会(水谷宗徳 会長)の4団体による災害時応援協定の調印を行いました。

本協定は、災害が発生した場合に、被災者支援に関し、各団体が相互に協力を要請し、生活用品、車両運搬具等の物資の調達確保とその活用を図るために締結するものです。調印式には各団体の会員、事務局併せて19名が出席しました。日本青年会議所三重ブロック協議会事務局渡辺氏が司会を務め、各団体の長より挨拶があり、本会の村田誠司会長からは「自分たちに出来ることは何かと以前から考えていた。当中央会は組合が仲間であり、他の団体は企業が仲間である。仲間が4団体となることで協力体制が更に強化され多岐にわたる支援が出来る。」との挨拶がありました。

その後、協力協定書に各団体の長と立合人の水谷公孝氏が記名捺印し、それぞれ1部ずつ協定書を保管することとなりました。

今後、4団体間の意見交換を行いながら連携強化を目指し、災害時における被災者支援活動への取り組みを行っていく予定となっています。



岩手県青年4団体と田野瀬政務官との意見交換会開催

9月21日(水) 盛岡市「ホテル大観」にて、岩手県青年4団体と文部科学大臣政務官・内閣府大臣政務官・復興大臣政務官田野瀬太道氏との意見交換会が開催された。

復興庁から平成28年度の復興施策重点概要として産業復興の加速化、農林水産業の再生、観光振興と交流人口の拡大等についての説明の後、各青年4団体より東日本大震災、台風10号により被災した中小企業支援、生産性向上、地方創生、人材確保・育成等に対する発言があった。

田野瀬政務官からは、震災と台風10号に対する支援は継続していくこと、地方創生等の取組みについては、地元奈良県の日本一の柿生産者の取組み、小中学生の郷土愛を育むためのアカデミックなフィールドワークの取組みの事例他を紹介するとともに、産学官の連携の重要性を強調。地域での取組みを実現するために行政にどんどん提言してほしい、行政からは必要な情報を提供していきたい。今後も、青年団体との意見交換を継続していきたい旨発言があった。

<意見交換会出席者>

文部科学大臣政務官・内閣府大臣政務官・復興大臣政務官
田野瀬文部科学大臣政務官秘書官
復興庁 産業復興総括班 参事官
復興庁 岩手復興局長
復興庁 岩手復興局 計画班 参事官

田野瀬 太道
森島 健人
間庭 典之
山下 容弘
菊地 正伸
(敬称略)

岩手県中小企業青年中央会
岩手県商工会青年部連合会
岩手県商工会議所青年部連合会
東北ブロック商工会議所青年部連合会
(公社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会

会 長 佐藤 康
会 長 古舘 聖人
会 長 山添 英順
副 会 長 野坂 哲司
副 会 長 三浦 英和
(敬称略)

(青年4団体からの主な発言)

・震災、台風10号による被災事業者の自力再建は難しい、廃業も出てくる。「誇り高き自立した復興」をめざし、経営革新等にも取り組んでいるが、国の支援の強化・継続は不可欠。再建・復興・企業発展のため適正かつ将来につながる投資、予算配分、継続支援が必要。

・人口減少は予測以上に急速に進展している。依然として風評被害等があり交流人口増のための取組み強化が必要。

・人材確保が最大の課題であり魅力ある企業になるため自助努力はもちろん、大企業にはできても中小企業・小規模事業者にはできない取組みへの支援。次世代に繋がる人材教育が課題。

・地域の良さを再確認・再認識する必要がある、それを徹底的に掘り下げた事業化と発信に対する支援。



挨拶をする田野瀬政務官



UBA news